

**大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果**

研究開発課題名:	大気中ウイルス可視化シートセンサの事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	大阪府立大学 大学院工学研究科 准教授 遠藤 達郎

1. SCORE での活動目的

当該課題の活動目的は、研究担当者らがこれまでに開発してきたフォトニック結晶センサシートを用いて、①大気中の各種有害タンパク質やウイルスを可視化するシートのプロトタイプ開発を行い、②その実用化に向けた特性評価・試験を行うことにある。本研究で商品化をめざすデバイスは、プラスチックシート上に形成されたフォトニック結晶シートセンシングシステムである。当該課題の活動内容は、研究開発途上で得られた予備的結果を踏まえて、本デバイスがビジネスとして有効かどうかを確認するため、本研究でプロトタイプを作製し、その試験、市場・顧客調査を進める。

2. 総合所見

事業化仮説に基づいた顧客ヒアリングと技術シーズの用途探索を積極的に実施し、ニーズが高く社会的インパクトが強い居住空間内のウイルス検知サービスを見出し、事業の実現性を高めた点を評価する。今後、社会からの要望が見込まれる分野であるため、事業化を実現することに期待する。

以上